

第4回清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会

次 第（事務局・委員長・副委員長用）

日時：2023年6月19日（月）15時～（17時00分）

場所：清瀬市役所－研修室1・2

1. 前回の議事 … 事務局 10分
 - ・第3回基本構想及び基本計画策定委員会議事録案 資料1

2. 議題
- 報告事項
- (1) 第3回清瀬市の新しい学校施設づくりワークショップ 10分
 - ・ワークショップの様子を写真で報告

- 協議事項
- (2) 小中のつながりを活かした新しい学校の教育的可能性について 30分
 - 資料2
- (3) 計画面積と所要室・面積構成 30分
 - ・計画条件等修正案 資料3
 - ・所要室・面積構成案 資料4
 - 教室まわりの構成
 - 特別支援学級の配置構成
 - 体育館の構成
- (4) 配置計画 30分
 - ・計画条件等修正案 資料3
 - ・配置計画案 資料5

- ※新しい学校施設づくりの目標（修正案）の検討は次回以降に再協議

3. 次回の日程調整
- ・第5回策定委員会 5分
- ・第4回市民ワークショップ 7月22日（土）開催予定 5分

第4回清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会

次 第

日時：2023年6月19日（月）15時～（17時00分）

場所：清瀬市役所－研修室1・2

1. 前回の議事

- ・第3回基本構想及び基本計画策定委員会議事録案 資料1

2. 議題

報告事項

(1) 第3回清瀬市の新しい学校施設づくりワークショップ

- ・ワークショップの様子を写真で報告

協議事項

(2) 小中のつながりを活かした新しい学校の教育的可能性について

資料2

(3) 計画面積と所要室・面積構成

- ・計画条件等修正案 資料3

- ・所要室・面積構成案 資料4

教室まわりの構成

特別支援学級の配置構成

体育館の構成

(4) 配置計画

- ・計画条件等修正案 資料3

- ・配置計画案 資料5

※新しい学校施設づくりの目標（修正案）の検討は次回以降に再協議

3. 次回の日程調整

- ・第5回策定委員会 7月中旬で日程調整

- ・第4回市民ワークショップ 7月22日（土）開催予定

小中のつながりを活かした新しい学校の教育的可能性について

学校施設の目標案 小中が隣り合う環境にあることを活かし、さまざまな場面で小中連携が図りやすい施設環境を目指すことを提案

議論の視点 小中が隣り合う環境にあることの現状の評価と課題
小中が隣り合う環境を活かした教育的/運営的/地域連携の可能性

教師の立場から
保護者の立場から
地域の立場から

□参考

・小中連携教育

小・中の教員が情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指すさまざまな教育的取り組み。

組織的な活動から個人の付き合いベースの活動、長期的かつ計画的な取り組みから一時的な取り組みまでさまざまな活動が考えられる。

・小中一貫教育 (前回の参考資料9)

小中9年間の教育目標を設定し、9年間の系統性・体系性に配慮した教育課程を編制し取り組む教育。

平成28年に制度化され、義務教育学校と小中一貫型小学校・中学校の2タイプがある。前者は1人の校長と1つの教職員組織で学校運営を行う形態、後者は小中それぞれに教職員組織が独立して学校運営を行う形態。

計画条件等（修正）について

1. 整備内容（案）

校舎等	小学校校舎及び体育館 24クラス+特別支援学級 中学校体育館
給食施設	小学校+中学校（2校分） …ただし、配置等の検討状況により、それぞれ単独で設ける可能性がある
複合施設	学童クラブ（200人対応）
プール施設	整備しない（授業は小中共に民間プールを利用）

2. 計画面積（案）

校舎	7,700 m ²
体育施設	1,200 m ² （小学校） 1,100 m ² （中学校）
給食施設	600 m ² （2校分の場合）※1 350 m ² （小学校単独の場合）
学童クラブ	650 m ²
参考：補助基準面積	校舎 7,720 m ² （24+3クラス※1 多目的等加算18%含）
	屋内運動場（集会室含） 1,215 m ² （16クラス以上） 小学校
	1,138 m ² （17クラス以下） 中学校
	給食施設 343 m ² （601人～900人） 小学校
	290 m ² （401人～600人） 中学校

※1. 小学校と中学校それぞれの給食施設を単独整備した場合の補助基準面積の合計を目安とする。

※2. 補助面積算定上の特別支援学級数を3クラスと想定したのは、たいよう学級（情緒障害）の現在の児童数（清瀬小9名+清瀬第八小9名=18名 定員8名/クラス）による。実際の計画では3教室しか設けないということではなく、年度によって児童数の増減があることを考慮して必要となる室・スペースの面積構成を検討する。

3. 校地条件

- ・東側及び北側道路を拡幅する。
- ・小学校と中学校の敷地は一体であるものとする。
→小学校と中学校の間には敷地境界線はないものとして新校舎の配置等を検討する
- ・現在の第2・第3学童クラブ施設（旧コミュニティハウス）は新しい学童クラブ施設が完成した後は別の用途に転用する。

4. 建設条件

- ・仮設校舎は作らない。
- ・令和11年4月に新校舎として開校できるように、工事を完了する。
- ・将来、中学校を建て替えた後の配置を踏まえた新校舎の配置・構成とする。

所要室・面積構成（案）

校舎	室名	単位面積	室数	計	備考	既存面積 (㎡)
	教室	70	24	1,680		63㎡
	児童ロッカー	15	24	360		
	小教室	40	6	240	習熟度別少人数授業	
	多目的スペース	100	6	600	学年毎	
	教材庫	20	3	60	2学年毎	
	児童更衣	20	6	120	男女別 2学年毎	
	児童トイレ・流し場	50	6	300	男女別、HWC	
	特別支援学級	300	1	300	トイレ等含む	30㎡/室
	特別支援教室	80	1	80	巡回指導（通級）	30㎡/室
	学校図書館	240	1	240		169㎡
	児童会	30	1	30	児童放送含む	
	児童玄関ホール	100	1	100		
	階段ホール	120	1	120	学年集会、発表活動の場	
	理科室	140	2	280	準備・メディア含む	110㎡（準備含）
	図工室	180	1	180	準備・メディア含む	122㎡（準備含）
	家庭科室	180	1	180	準備・メディア含む	122㎡（準備含）
	音楽室	160	2	320	準備・楽器庫・練習室含む	112㎡（準備含）
	保健室・相談室	100	1	100	流し場等含む	96㎡
	校長室	30	1	30	応接	31㎡
	職員スペース	200	1	200	40人×5㎡/人	94㎡
	事務スペース	30	1	30		32㎡
	更衣・休憩	30	2	60	男女別、更衣個人ロッカー	63㎡
	印刷	30	1	30		31㎡
	書庫、サーバー	20	1	20		-
	用務作業・倉庫	40	1	40		32㎡
	職員一般トイレ	40	1	40	男女別、HWC	
	職員一般玄関	30	1	30	受付	
	学校史ミュージアム	40	1	40	仮称	63㎡
	地域交流ホール	40	1	40	地域玄関	
	PTA室	30	1	30		
	地域連携室	30	1	30	学校支援本部	(31㎡)
	室面積計			5,910	㎡	75%
	廊下・配膳室・倉庫等			1,970	㎡	25%
	合計			7,880	㎡	100%
	計画面積			7,700	㎡	

□特別教室の授業時間数と室数の関係

○理科

時間数 2.6時間/クラス・週×4クラス（3学年） = 10.4時間/週（3学年）
 3時間/クラス・週×4クラス（4・5・6学年） = 36時間/週（4・5・6学年）

計46.4時間/週・学校全体①
 室数 2室×28.8時間/週 = 57.6時間/週（利用可能時間）②
 3学年28時間/週 4学年以上29時間/週 平均28.8時間/週

利用率 ①÷②=80.6% →時間割を工夫すれば、理科室ですべての授業が可能
 専科教員1名 現在の清瀬小（20クラス）

○音楽

時間数 2時間/クラス・週×4クラス（1・2学年） = 16時間/週（1・2学年）
 1.7時間/クラス・週×4クラス（3・4学年） = 13.6時間/週（3・4学年）
 1.4時間/クラス・週×4クラス（5・6学年） = 11.2時間/週

計40.8時間/週・学校全体①
 室数 2室×27.5時間/週 = 55時間/週（利用可能時間）②
 1学年24時間/週 2学年26時間/週 3学年28時間/週 4学年以上29時間/週 平均27.5時間/週

利用率 ①÷②=74.2% →時間割を工夫すれば、音楽室ですべての授業が可能
 専科教員1名 現在の清瀬小（20クラス）

○図画工作

時間数 2時間/クラス・週×4クラス（1・2学年） = 16時間/週（1・2学年）
 1.7時間/クラス・週×4クラス（3・4学年） = 13.6時間/週（3・4学年）
 1.4時間/クラス・週×4クラス（5・6学年） = 11.2時間/週

計40.8時間/週・学校全体①
 室数 1室×27.5時間/週 = 27.5時間/週（利用可能時間）②
 1学年24時間/週 2学年26時間/週 3学年28時間/週 4学年以上29時間/週 平均27.5時間/週

利用率 ①÷②=148% →すべての授業を図工室で行うことは難しいため、学年ユニットも利用
 専科教員1名 現在の清瀬小（20クラス）

○家庭科

時間数 1.7時間/クラス・週×4クラス（5学年） = 6.8時間/週
 1.6時間/クラス・週×4クラス（6学年） = 6.4時間/週

計13.2時間/週・学校全体①
 室数 1室×29時間/週 = 29時間/週（利用可能時間）②

利用率 ①÷②=45.5% →家庭科室ですべての授業が可能（それでも空き時間が多い）
 専科教員0名 現在の清瀬小（20クラス）

体育施設（小学校）

室名	単位面積	室数	計	備考	既存面積（㎡）
アリーナ	700	1	700	22m×32m程度 （バレー9m×18m2面）	469㎡ （17.9×26.22）
ステージ	80	1	80		83㎡
多目的室	120	1	120	軽運動、ミーティング、集会	-
器具庫	60	1	60		
更衣	20	2	40		99㎡
トイレ	40	1	40	男女別、バリアフリー対応	
備蓄庫	50	1	50	地域用 小中兼用	-
室面積計			1,090 ㎡	90%	
廊下等			121	10%	
合計			1,211 ㎡	100%	
計画面積			1,200 ㎡	（補助基準面積 1,215㎡）	671㎡

体育施設（小学校）別案

室名	単位面積	室数	計	備考	既存面積（㎡）
中アリーナ	600	1	600	19m×32m程度 （バスケ15m×28m1面）	469㎡ （17.9×26.22）
ステージ	80	1	80		83㎡
小アリーナ	200	1	200		-
中アリーナ器具庫	60	1	60		-
小アリーナ器具庫	20	1	20		
更衣	20	2	40		99㎡
トイレ	40	1	40	男女別、バリアフリー対応	
備蓄庫	50	1	50	地域用 小中兼用	-
室面積計			1,090 ㎡	90%	
廊下等			121	10%	
合計			1,211 ㎡	100%	
計画面積			1,200 ㎡	（補助基準面積 1,215㎡）	671㎡

体育施設（中学校）

室名	単位面積	室数	計	備考	既存面積（㎡）
アリーナ	900	1	900	27m×33m程度 （バスケ13m×24m2面）	570㎡ （19.2×29.7）
ステージ	0	0	0	集会は小学校アリーナで実施	106㎡
器具庫	60	1	60		
更衣	30	2	60		73㎡
トイレ	40	1	40	男女別、バリアフリー対応	
室面積計			1,060 ㎡	90%	
廊下等			118	10%	
合計			1,178 ㎡	100%	
計画面積			1,100 ㎡	（補助基準面積 1,138㎡）	768㎡

体育施設（中学校）別案

室名	単位面積	室数	計	備考	既存面積（㎡）
アリーナ	680	1	680	22m×31m程度 （バレー9m×18m2面）	570㎡ （19.2×29.7）
ステージ	0	0	0	全校集会は小学校アリーナで実施	106㎡
武道場	200	1	200	集会、ダンス等も可	
器具庫（武道用）	20	1	20		
器具庫	60	1	60		
更衣	30	2	60		73㎡
トイレ	40	1	40	小学校体育館兼用	
室面積計			1,060 ㎡	90%	
廊下等			118	10%	
合計			1,178 ㎡	100%	
計画面積			1,100 ㎡	（補助基準面積 1,138㎡）	768㎡

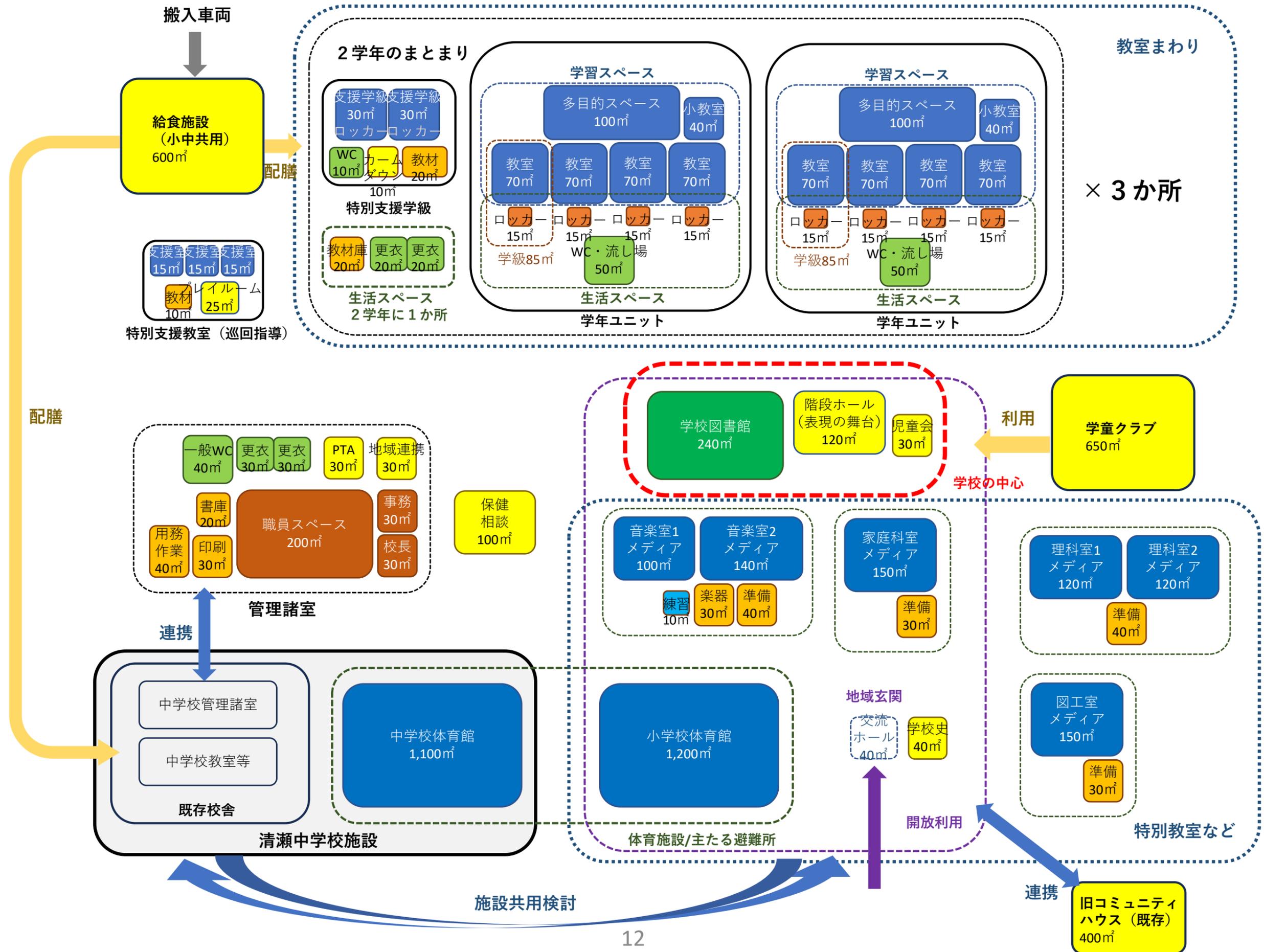
給食調理室

室名	単位面積	室数	計	備考	既存面積（㎡）
小学校（601～900人）	343	1	343	補助基準面積：319+18（炊）+6（ア）	185㎡
中学校（401～600人）	290	1	290	補助基準面積：266+18（炊）+6（ア）	172㎡
室面積計			633 ㎡		357㎡
計画面積			600 ㎡		

- ※1 単独調理場（901～1200人）：361+25+8=394㎡
 ※2 共同調理場（1001～2000人）：884+43+14=941㎡
 ※3 炊：炊飯調理スペース ア：アレルギー対応調理スペース

学童保育（5単位 定員200人）

室名	単位面積	室数	計	備考	既存面積（㎡）
保育室	70	5	350	1.65×40人=66㎡（有効面積）	既存校舎内127㎡
学童ロッカー	10	5	50		コミュニティハウス
指導員室	10	5	50	執務・更衣・給湯	400㎡程度
トイレ	40	2	80	男女別、バリアフリー対応	
室面積計			530 ㎡	80%	
廊下・玄関等			133	20%	
合計			663 ㎡	100%	
計画面積			650 ㎡		11



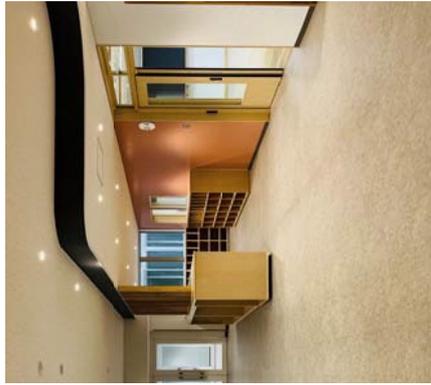
教室まわりの構成について



□ ICT環境が整った教室例



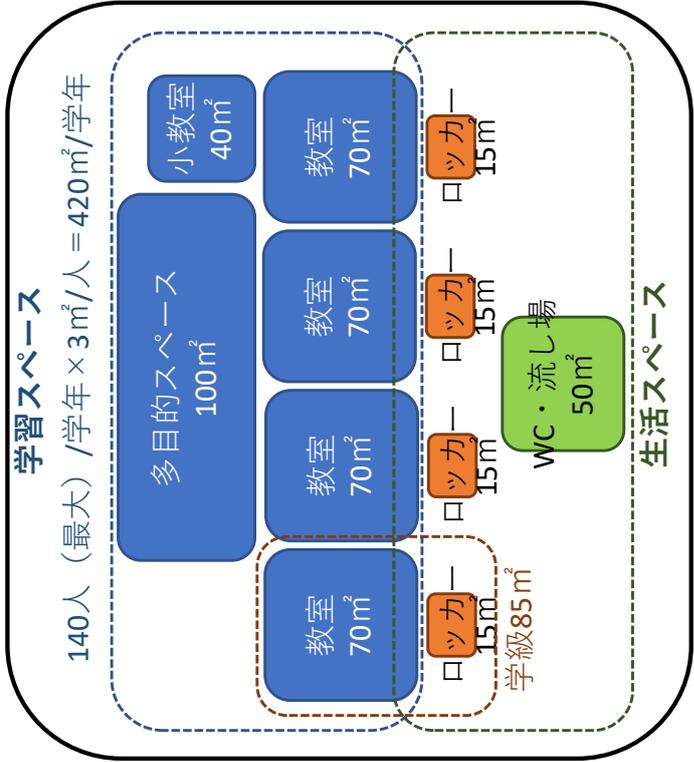
□ 掲示物が身近に感じられる教室例



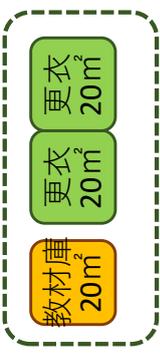
□ 教室空間とは別に設けた児童ロッカースペース例



□ 居心地も良い児童更衣スペース例



学年ユニット



生活スペース
2学年に1か所

6学年に1か所

□ 学年ユニットの考え方 (案)

- ・4クラス/学年対応
- ・東京都の習熟度別少人数指導に対応
- ・学習・生活の面で施設環境の充実を図る
- ・教室と多目的スペース、小教室で学習スペースを構成
→ 個別学習や協働学習、一斉指導、発表などに適した場所
- ・場所で学習スペースを構成する
- ・児童ロッカーは教室と別空間として用意
- ・学年ごとにトイレ、流し場を確保
(2学年集約配置も考えられる)
- ・更衣室と教材庫は2学年毎に用意
- ・発達段階をふまえて低中高学年ごとに特色を持たせる
→ どのような特色を持たせるか



□ 教室と一体的に使える多目的スペース例



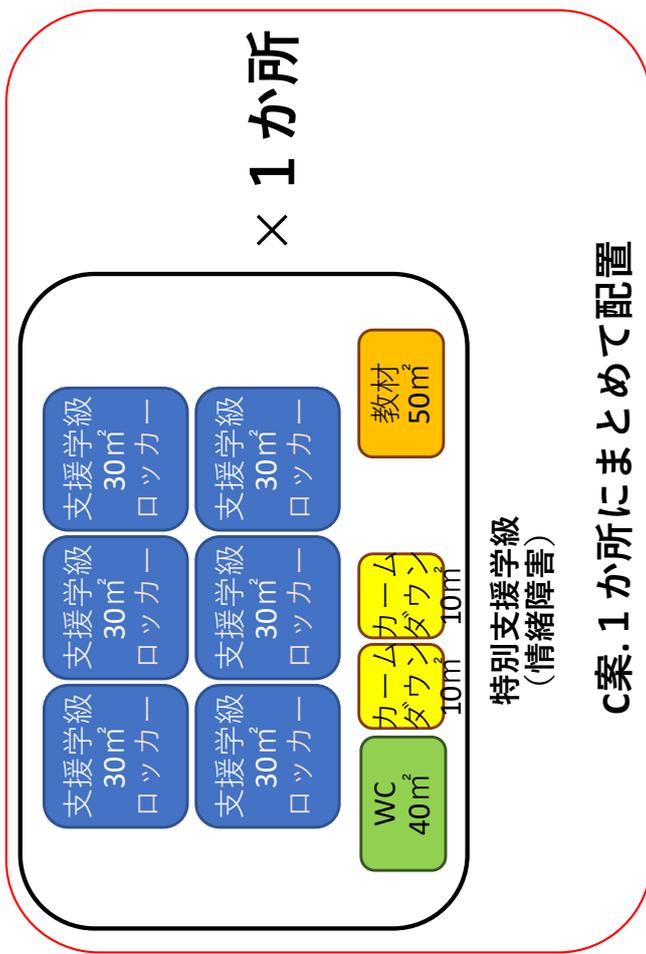
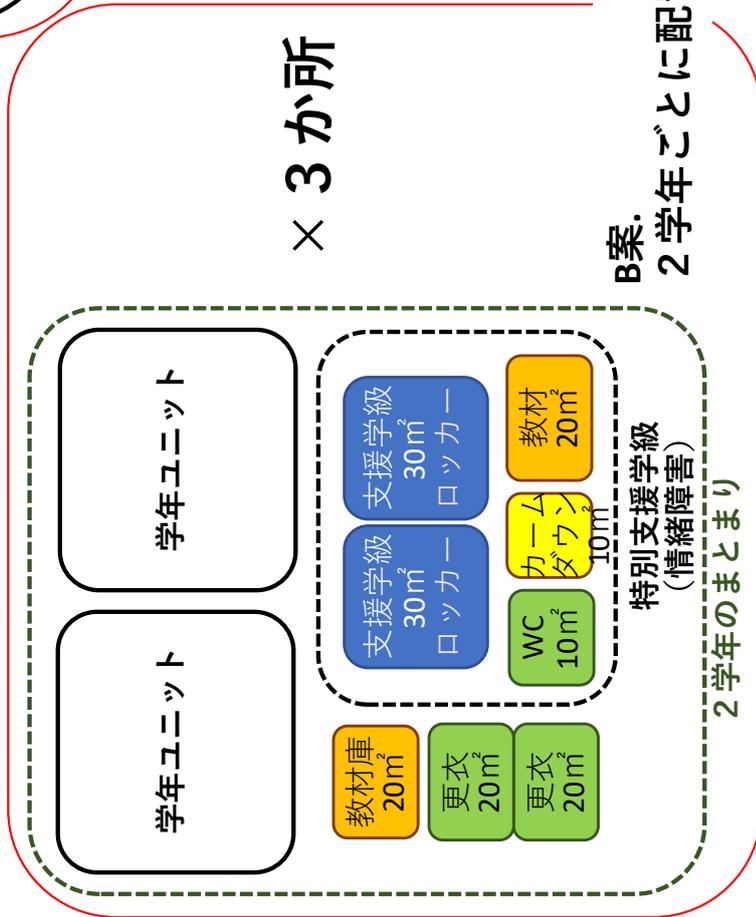
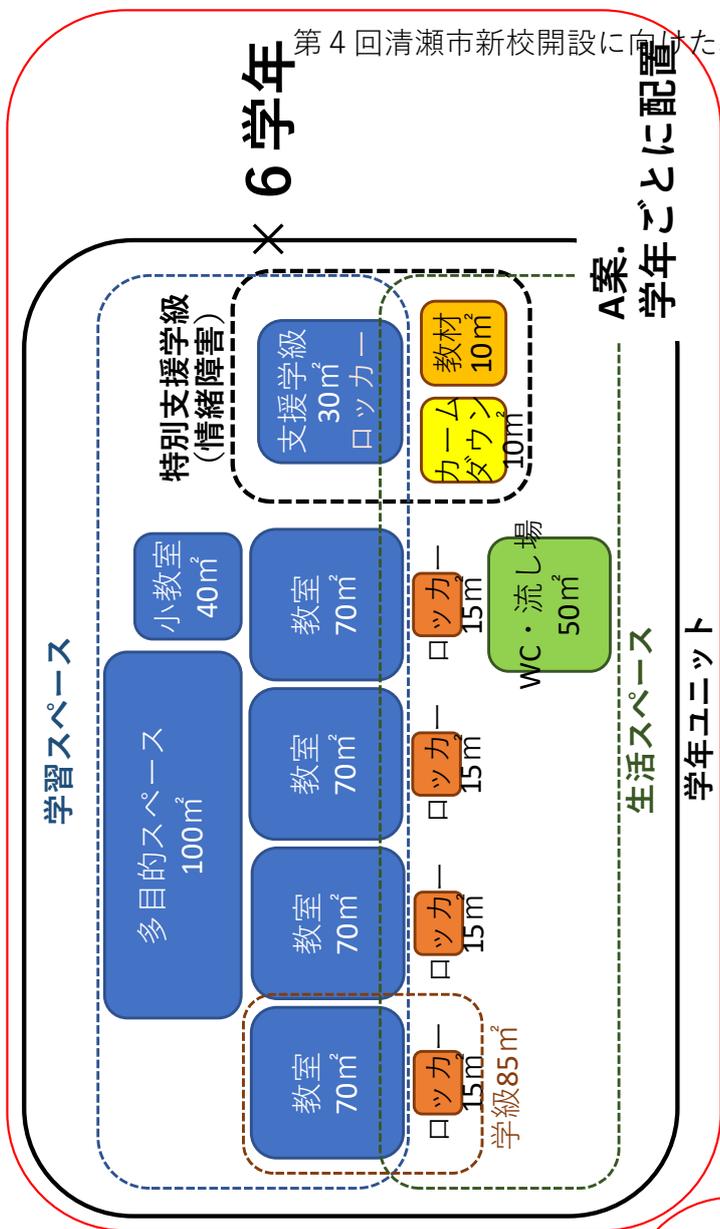
□ いつでも発表活動ができる階段ホールの例

特別支援学級の配置構成について

□特別支援学級の配置構成の考え方（案）

- A案**
- ・学年ごとに1室用意する
 - ・学年進行とともに普通学級の児童と同じ場で共に育つ
- B案**
- ・2学年のまとまり（低中高学年）ごとに2室用意する
 - ・児童の増減に応じて場所用を使い分ける
- C案**
- ・全校で1か所に集約配置する
 - ・学校の中に特別支援の学校がある

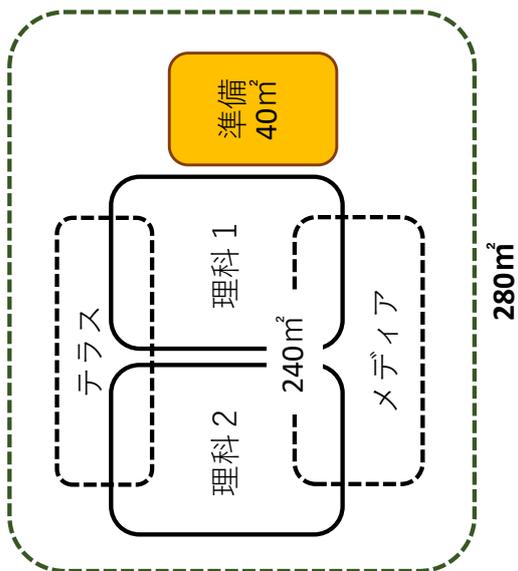
※教室構成については次回提案



特別教室の構成について 理科室

□理科室の考え方（案）

- ・理科の世界が体感できる実験スペース、メディアスペースを用意する。
- ・2室をそれぞれ特色ある実験スペースとして構成とする。
例.自然系（生物/地学）
物質系（化学/物理） など
- ・理科分野だけではなく、他の特別教室や図書などを組み合わせ、教科横断的な探求の場として使えるようにすることも考えられる。



□さまざまなメディアスペースが充実した理科メディアスペースの例



□さまざまな学習材が整い理科の世界にいつでも触れられる実験室の例

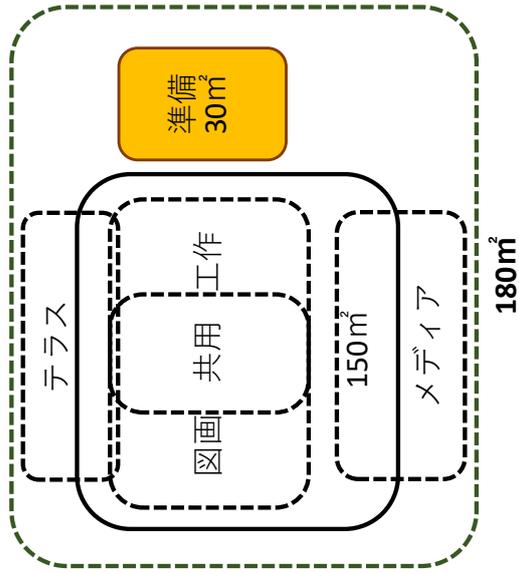


□自然観察が何時でもできる理科テラスの例

特別教室の構成について 図工室

□図工室の考え方（案）

- ・創作活動の意欲が湧くワークスペース、メディアスペースを用意する。
- ・汚れを気にせず活動でき、創作活動に没頭できる作業環境とする。
- ・制作中の作品等が保管できる場所を用意する。



□創作の世界へ誘う図工メディアスペースの例



□活動に応じた環境が用意され、創作意欲が湧く図工室の例

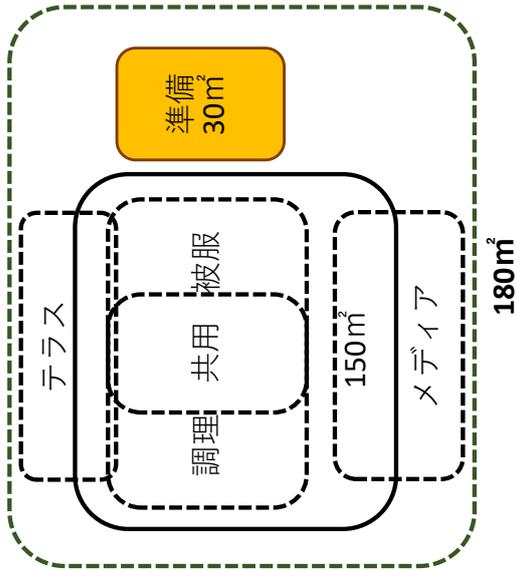


□埃を気にせず作業ができる創作テラスの例

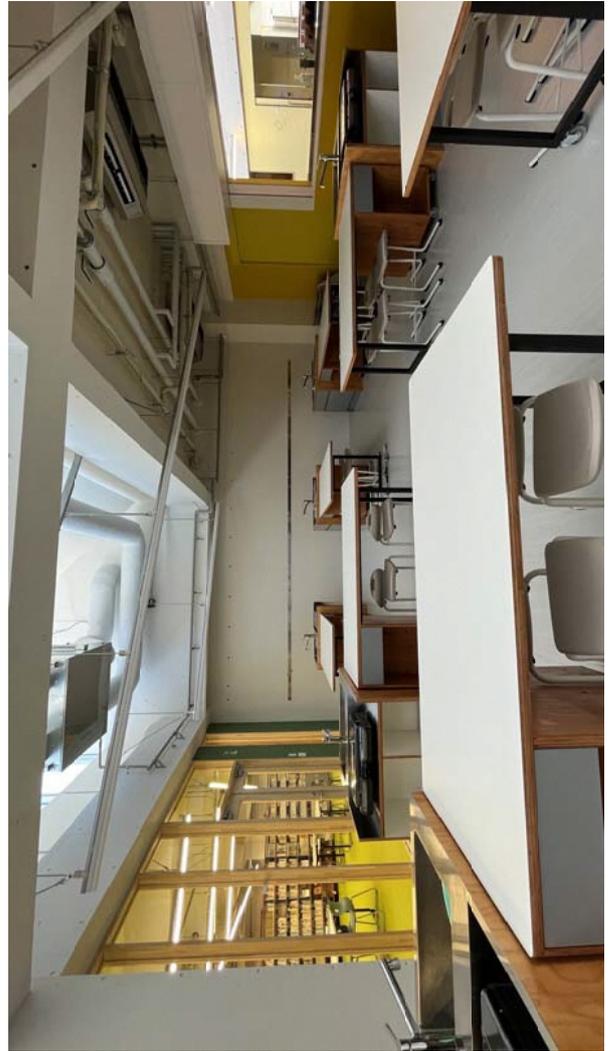
特別教室の構成について 家庭科室

□家庭科室の考え方（案）

- ・調理実習と被服作業がそれぞれ行いやすい構成とする。
- ・実習意欲が湧く家庭科の雰囲気づくりが行えるようにする。
- ・制作中ものが保管できる場所を用意する。
- ・掲示・展示空間を用意する。



□家庭科メディアスペースの例



□固定のキッチンと可動の作業台を組み合わせさせた例

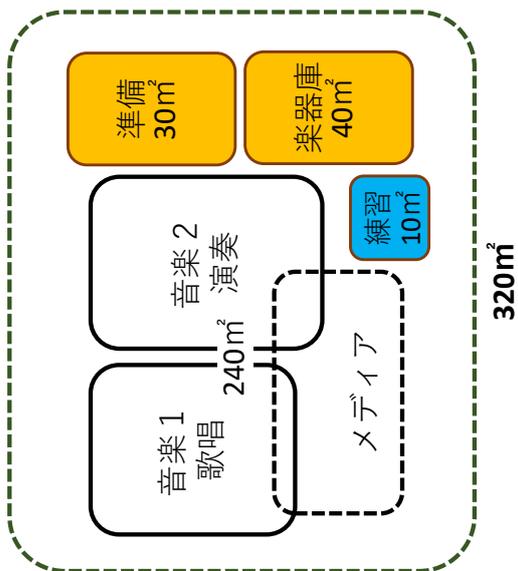


□壁面にキッチンを用意し中央に被服作業ができるスペースを用意した例

特別教室の構成について 音楽室

□ 音楽室の考え方 (案)

- ・ 音楽に親しめる音楽室とする。
- ・ 2室を性格分けて整備することで、多様な音楽活動に適した環境を用意する。
例.歌唱/合唱系、演奏/鑑賞系など
- ・ 楽器等を整理整頓しやすい環境とする。



□ いつでも練習できる音楽メディアスペースの例



□ 天井が高く、音響に配慮した音楽室の例

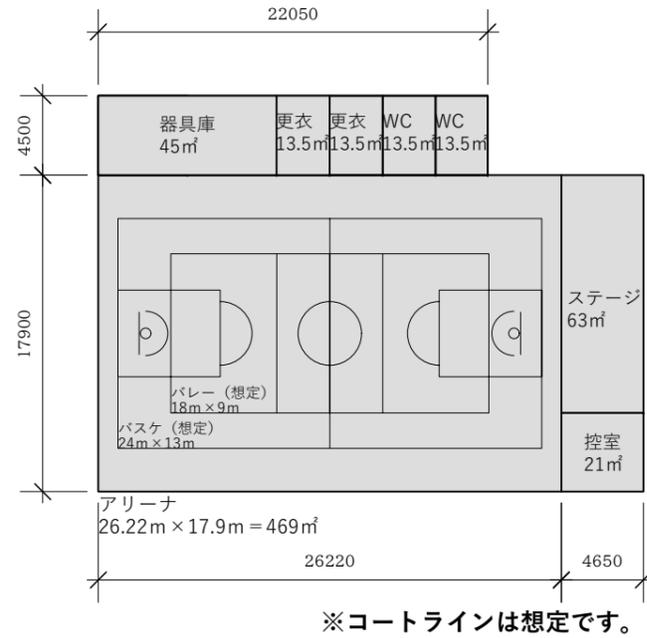


□ パート練習もできる練習スタジオの例

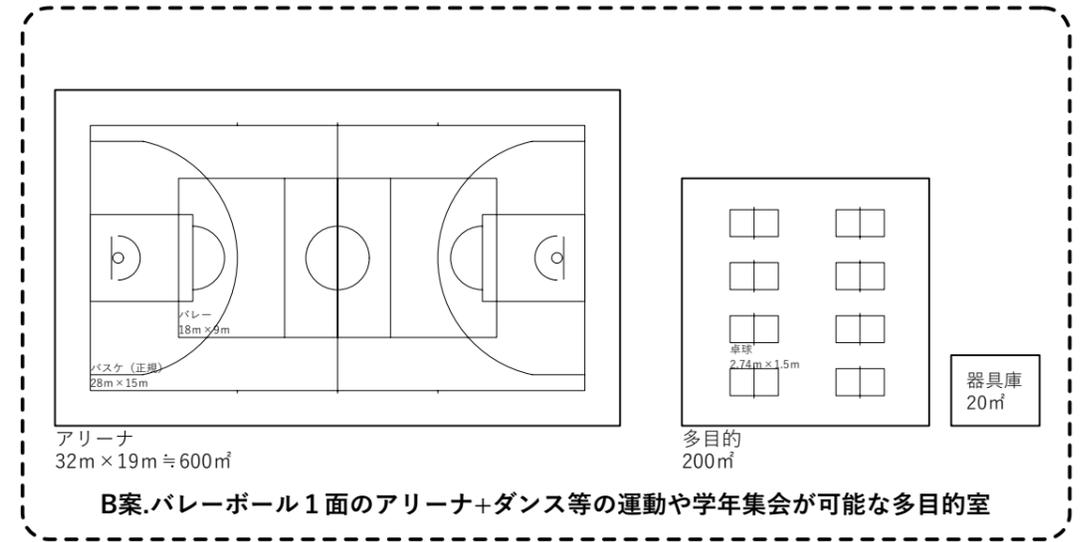
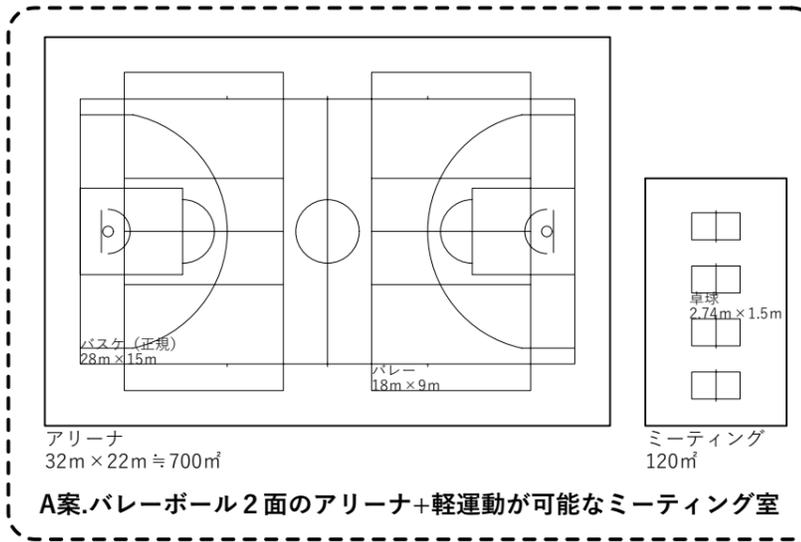
体育館の構成について

○考え方(案)

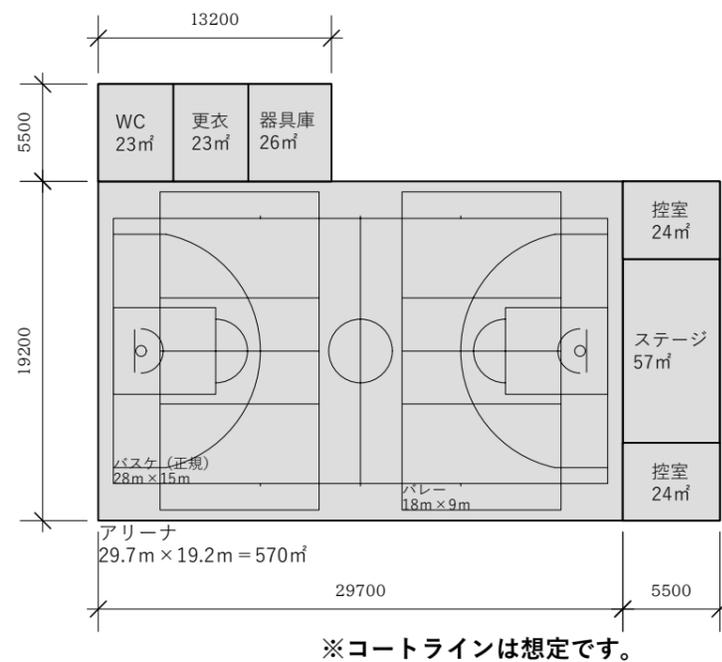
- ・小中の相互利用を考慮した構成とすること
- ・地域の避難所としても連携した使い方ができるようにすること



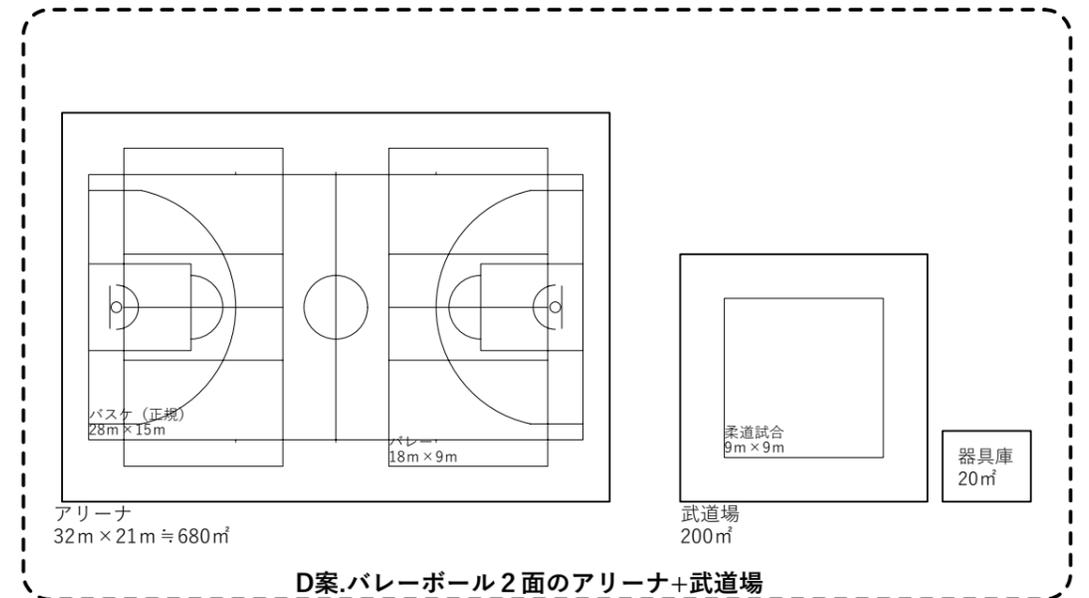
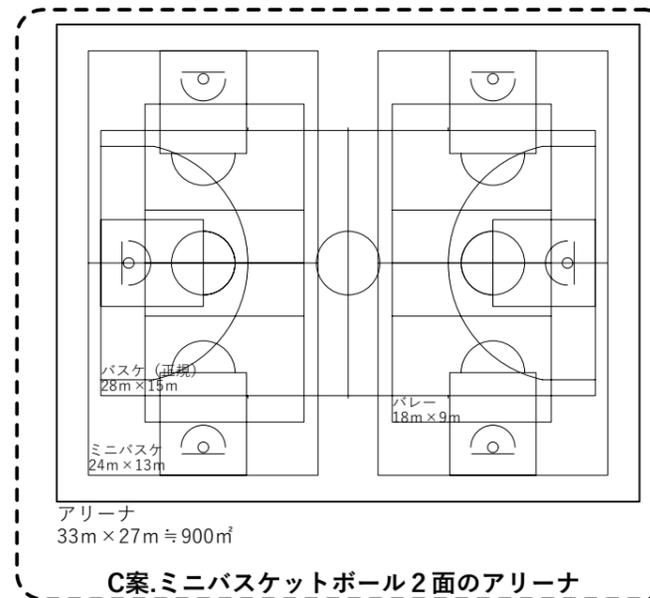
□現在の清瀬小学校体育館 652㎡



□新しい清瀬小学校体育館の構成要素(案) 計画面積1,200㎡(廊下等含)



□現在の清瀬中学校体育館 748㎡



□新しい清瀬中学校体育館の構成要素(案) 計画面積1,100㎡(廊下等含)